

4年	科目	学外実習Ⅱ	実習	通年	担当	新富 雅仁 SHINTOMI Masahito
機械工学科		Off-Campus Training II	選択	2履修単位		
授業の概要						
長期休業中に、企業または研究機関等の受入先機関において実習を行い、生産現場や研究機関等における研究・開発・生産などの活動を体験し、授業で修得した知識や技術がどのように利用・実用化されているかなどを理解する。また、実務経験を通じて技術者としての労働観・職業観を育成する。受入先機関における実習実施期間は2週間(60時間)程度とする。						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
	○	5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)		実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)			
授業目標						
<ol style="list-style-type: none"> 1. 実習をとおして学問の実際の意義を説明できる。 2. 技術者としての労働観・職業観を説明できる。 3. 実習の目的、実習の成果などを事前レポート・実施報告書・報告会をとおして説明できる。 						
授業計画						
第1回	ガイダンス(1)	教育目標・授業概要・評価方法等の説明				
第2回	ガイダンス(2)	受入先機関選定の方法				
第3回	事前研修(1)	応募書類の作成方法				
第4回	事前研修(2)	事前レポートの作成				
第5回	事前研修(3)	合同事前研修(7/6(水))				
第6回	受入先機関での研修	内容は受入先機関との協議により決定				
第7回						
第8回						
第9回						
第10回						
第11回						
第12回						
第13回						
第14回						
第15回						
第16回	事後研修(1)	実施報告書作成				
第17回	事後研修(2)	実施報告書作成				
第18回	事後研修(3)	プレゼンテーションの手法				
第19回	事後研修(4)	プレゼンテーション資料作成				
第20回	事後研修(5)	報告会				
評価方法 と基準	事前レポート20%、実施報告書40%、報告会30%、自己評価10%として評価する。 60点以上を合格とする。					
教科書等						
備考	<ol style="list-style-type: none"> 1. 試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2. 授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。 					